

表千家

襲名記念 猶有齋 千宗左家元

改名記念 而妙齋 千宗旦宗匠

好み物展

同時開催：『家元の代譲りと茶の湯』

【会期・会場】

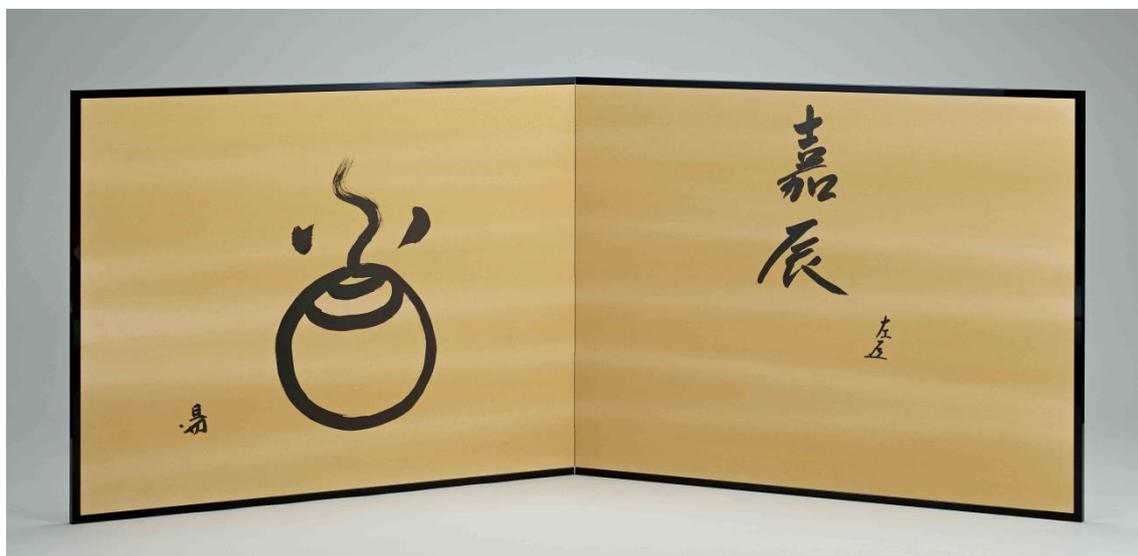
東京会場：2019年9月11日(水)～16日(月・祝) 日本橋高島屋 S.C.本館 8階ホール

大阪会場：2019年9月25日(水)～30日(月) 大阪高島屋 7階グランドホール

横浜会場：2019年10月9日(水)～14日(月) 横浜高島屋ギャラリー<8階>

京都会場：2019年10月23日(水)～28日(月) 京都高島屋 7階グランドホール

・入場料：無料



而妙齋筆 玉ノ画 猶有齋賛 嘉辰 離宮形風炉先屏風 奥村吉兵衛作

千利休を祖とする表千家は、茶道三千家のひとつ。本展は、猶有齋千宗左家元の家元襲名と、而妙齋千宗旦前家元の改名を記念して開催されるものです。宗旦とは隠居してからの名で、表千家十五代の中では4人目となります。



嶋台茶碗

十六代樂吉左衛門、樂直入 合作



猶有齋作 竹置花入

銘 天下 黒田正玄下削



而妙齋好 爪紅丸卓

飛来一閑作



猶有齋好 日ノ出鶴 皆具 十ノ内

永樂善五郎作



猶有齋好 松唐草蒔絵 炉縁

中村宗哲作



猶有齋好 一文字透唐金鬼面風炉 田口釜添 大西清右衛門作

会場では、おめでたい「松鶴瑞祥」※をテーマに千家十職の先生方が手がけた、お家元・宗旦宗匠の好み物を中心とする新しいお道具を展覧いたします。

特にお二人自筆のそれぞれの自筆の一行書や合作の画賛、自作の茶碗・茶杓などは、今回の展覧会のために特別に制作されたもので、ご覧いただく貴重な機会となります。

また同時開催として、千家の歴史と歴代の家元の足跡を、代々伝わる貴重な茶道具や写真などでご紹介する「家元の代譲りと茶の湯」も展覧いたします。

※「松鶴瑞祥」

松は常に緑を保ち、神様を待つ木とされている。日本庭園には必ずといっていいほど植えられている、おめでたい木。また鶴は古代中国では鳥の中で第一位の鳥で「一品鳥」と呼ばれた。その泣き声が共鳴して遠方まで届くことから天に届く、天上界に通ずるおめでたい鳥とされている。瑞祥とはおめでたいことの起こる前兆のことで、めでたいしるしの吉兆を表すことば。

【お問い合わせ】日本橋高島屋 S.C.本館 TEL (03)3211-4111(代表)